年間授業計画

高等学校 令和６年度　教科 地理歴史科　科目 世界史探究

教　科：　地理歴史科　　科　世界史探究　　単位数：　3 単位

対象学年組：第　3 学年　世界史探究①・世界史探究②

教科担当者：　（　渡辺薫子　）

使用教科書：　（　山川出版社『詳説世界史』　）

教科　地理歴史科　　の目標

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けること。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養うこと。

【学びに向かう力】　地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めること。

科目　世界史探究　　の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ・宋から明までの中国の王朝の変遷などを基に，諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。 ・アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。 ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と交易の拡大を構造的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力】 ・歴史的事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	・東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・大交易・大交流の時代 ・アジアの諸帝国の繁栄 ・近世ヨーロッパの動向	【知識及び技能】 ・宋から明までの中国の王朝の変遷などを基に，諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 ・アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と交易の拡大を構造的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現できる。 【学びに向かう力】 ・歴史的事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	45
	中間考査			○	○	○	1
	期末考査			○	○	○	1
2学期	【知識及び技能】 ・産業革命から20世紀初頭までの、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・産業革命や環大西洋革命の意味や意義，自由主義とナショナリズムの特徴，南北アメリカ大陸の変容、第1次第2次世界大戦と国際秩序の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力】 ・歴史的事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	・産業革命と環太平洋革命 ・イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ・アジア諸地域の動揺 ・帝国主義とアジアの民族運動 ・第1次世界大戦と世界の変容 ・第2次世界大戦と新しい国際秩序 ・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の終結と今日の世界	【知識及び技能】 ・産業革命から20世紀初頭までの、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・産業革命や環大西洋革命の意味や意義，自由主義とナショナリズムの特徴，南北アメリカ大陸の変容、第1次第2次世界大戦と国際秩序の変容などを多面的・多角的に考察し，表現できる。 【学びに向かう力】 ・歴史的事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	50
	中間考査			○	○	○	1
	期末考査			○	○	○	1
3学期	・受験に向けた演習問題を解く。	入試問題演習	・受験に向けた演習問題を解き、世界史の集大成をはかっている。	○	○	○	40
	学年末考査			○	○	○	1
							合計 140